



Better Health, Brighter Future

2015 年度 業績概要 DATA BOOK

武田薬品工業株式会社(証券コード:4502)

お問い合わせ先 グローバルファイナンス IR
TEL:03-3278-2306
<http://www.takeda.co.jp/>

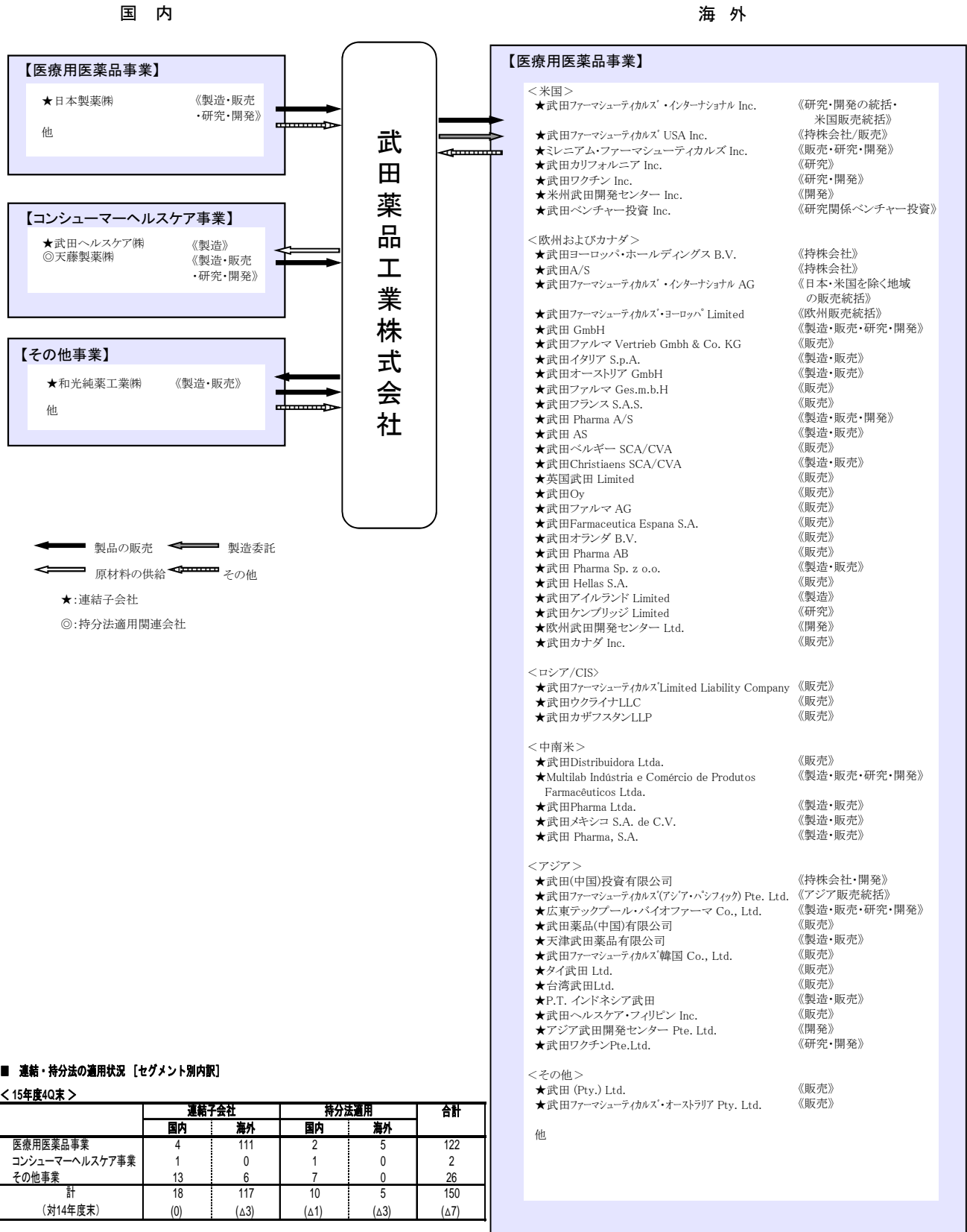
決算データ
<http://www.takeda.co.jp/investor-information/results/>

もくじ

I. 武田グループの概要	
■ 連結・持分法の適用状況	1
II. 業績の状況	
1. 業績ハイライト	2
2. 連結純損益計算書等	3
3. 売上収益・売上高の状況	4-6
◆ 地域別売上収益	
◆ 医療用医薬品売上収益	
◆ 新興国医療用医薬品売上収益	
◆ 医療用医薬品 グローバル主要品目売上高	
◆ 医療用医薬品 米国主要品目売上高（現地通貨ベース）	
◆ 医療用医薬品 国内主要品目売上高	
◆ 一般用医薬品 主要品目売上高	
4. 連結財務状態計算書	7-8
5. 連結キャッシュ・フロー計算書	8
6. セグメント情報	9
7. 資本的支出、減価償却費及び償却費、減損損失	9
8. 人員の状況	10
9. 株主の状況	11
10. 主要な経営指標	12
III. パイプラインの現状	
1. 開発の状況	13-17
■ がん領域	
■ 消化器系疾患領域	
■ 中枢神経系疾患領域	
■ ワクチン	
■ スペシャルティ循環器系疾患	
■ その他	
■ 最近のステージアップ品目	
■ 開発中止品目	
■ 共同事業化契約変更品目	
■ ホームページで開示している臨床試験情報	
2. 研究の状況	
■ 主な共同研究活動	18

I. 武田グループの概要

当社グループは当社と連結子会社(パートナーシップを含む)135社、持分法適用関連会社15社を合わせた151社により構成されております。当社グループが営んでいる主な事業内容と当社グループを構成している各会社の当該事業に係る位置付けの概要及び報告セグメントとの関連は次のとおりであります。当年度より、従来の「ヘルスケア事業」から「コンシューマーヘルスケア事業」へとセグメント名称を変更しております。なお、セグメント名称変更によるセグメント情報に与える影響はありません。



Ⅱ. 業績の状況

1. 業績ハイライト (詳細についてはP3以降で紹介)

【連結経営成績】(億円)	13年度	14年度	15年度	対前年	増減率	16年度 見込
売上収益	16,917	17,778	18,074	296	1.7%	17,200
海外売上収益	9,578	10,650	11,193	543	5.1%	11,000
<率>	<56.6%>	<59.9%>	<61.9%>	<2.0pt>		<64.0%>
医療用医薬品事業売上収益	15,291	16,145	16,487	342	2.1%	15,600
研究開発費(注1)	3,416	3,529	3,459	△70	△2.0%	3,250
<率>	<20.2%>	<19.9%>	<19.1%>	<△0.7pt>		<18.9%>
営業利益	1,393	△1,293	1,308	2,601	—	1,350
<率>	<8.2%>	<△7.3%>	<7.2%>	<14.5pt>		<7.8%>
税引前利益	1,589	△1,454	1,205	2,660	—	1,325
<率>	<9.4%>	<△8.2%>	<6.7%>	<14.8pt>		<7.7%>
当期利益	1,096	△1,430	835	2,265	—	
<率>	<6.5%>	<△8.0%>	<4.6%>	<12.7pt>		
親会社の所有者に帰属する当期利益	1,067	△1,458	802	2,259	—	880
<率>	<6.3%>	<△8.2%>	<4.4%>	<12.6pt>		<5.1%>
Core Earnings(注2)	3,142	2,883	2,924	41	1.4%	
<率>	<18.6%>	<16.2%>	<16.2%>	<△0.0pt>		

(注)1. 新組織体制への移行および管理計算制度の変更に伴い、15年度の表示科目の一部が変更されており、14年度については当該表示科目変更による影響の概算額を調整している。

2. 営業利益から、企業買収に係る会計処理の影響や無形資産の償却費および減損などの一時的要因を排除した定常的ビジネスの利益

【連結財務状態】(億円)	13年度末	14年度末	15年度末	対前年度末
資産合計	45,691	42,962	38,241	△4,721
負債合計	20,285	20,900	18,129	△2,771
資本合計	25,406	22,062	20,112	△1,950
親会社の所有者に帰属する持分	24,707	21,370	19,487	△1,884
親会社所有者帰属持分比率	54.1%	49.7%	51.0%	1.2pt

【株式の状況】	13年度末	14年度末	15年度末
期末発行済株式総数(千株)	789,681	789,924	790,284
自己株式数(千株)	213	4,032	6,745
期末株価(円)	4,892	5,999	5,136
株式時価総額(億円)	38,631	47,388	40,589

【ROE・EPS・配当の状況】(円)	13年度	14年度	15年度	対前年
親会社所有者帰属持分当期利益率(ROE)	4.5%	△6.3%	3.9%	—
基本的1株当たり当期利益(Basic EPS)	135.10	△185.37	102.26	—
1株当たり配当金	180.00	180.00	180.00	—
配当性向	133.2%	—	176.0%	—

【為替レート】(円)	13年度	14年度	15年度	16年度 前提
ドル 年間平均レート(4-3月)	100	109	121	110
ユーロ 年間平均レート(4-3月)	133	139	132	125

2. 連結純損益計算書等

	13年度	14年度	15年度	対前年	増減率	(億円) 16年度 見込
売上収益	16,917	17,778	18,074	296	1.7%	17,200
知的財産権収益・役員収益	863	875	565	△311	△35.5%	
売上原価（注1）	4,903	5,281	5,354	73	1.4%	
<率>	<29.0%>	<29.7%>	<29.6%>	<△0.1pt>		
売上総利益	12,014	12,498	12,720	222	1.8%	
<率>	<71.0%>	<70.3%>	<70.4%>	<0.1pt>		
販売費及び一般管理費（注1）	5,562	6,347	6,508	161	2.5%	
<率>	<32.9%>	<35.7%>	<36.0%>	<0.3pt>		
販売費		4,366	4,606	240	5.5%	
一般管理費		1,981	1,902	△79	△4.0%	
研究開発費（注1）	3,416	3,529	3,459	△70	△2.0%	3,250
<率>	<20.2%>	<19.9%>	<19.1%>	<△0.7pt>		<18.9%>
製品に係る無形資産償却費及び減損損失	1,432	1,764	1,251	△513	△29.1%	1,400
その他の営業収益	239	1,072	251	△821	△76.6%	
補助金収入	26	31	37	6	18.6%	
賃貸収入	43	39	34	△5	△11.6%	
売却目的保有資産の売却益	66	328	1	△328	△99.8%	
譲渡事業に係るロイヤリティ収入	47	65	49	△16	△24.4%	
その他（注2）	56	608	129	△479	△78.7%	
その他の営業費用	450	3,222	444	△2,778	△86.2%	
賃貸収入に付随して発生した直接的な費用	50	22	50	27	121.6%	
寄付金	32	15	24	10	64.0%	
事業構造再編費用（注3）	217	312	258	△54	△17.4%	
アクロス訴訟填補引当金繰入	-	2,741	-	△2,741	△100.0%	
その他	151	132	112	△20	△15.0%	
営業利益	1,393	△1,293	1,308	2,601	-	1,350
<率>	<8.2%>	<△7.3%>	<7.2%>	<14.5pt>		<7.8%>
金融収益	493	154	216	63	40.9%	
受取利息	14	23	23	0	0.1%	
受取配当金	33	33	33	1	2.0%	
売却可能金融資産売却益	405	89	151	62	69.3%	
為替差益（デリバティブ評価益を含む）	41	-	-	-	-	
法人所得税等還付加算金	-	-	-	-	-	
その他	0	9	9	1	6.6%	
金融費用	307	329	319	△9	△2.9%	
支払利息	49	58	53	△5	△9.1%	
条件付対価に係る公正価値変動額	110	162	76	△86	△53.1%	
売却可能金融資産減損損失	8	17	23	7	41.1%	
為替差損（デリバティブ評価損を含む）	118	39	140	102	-	
その他	23	53	27	△27	△49.7%	
持分法による投資利益	10	13	△0	△13	-	
税引前当期利益	1,589	△1,454	1,205	2,660	-	1,325
法人所得税費用	493	△24	371	395	-	
当期利益	1,096	△1,430	835	2,265	-	
<率>	<6.5%>	<△8.0%>	<4.6%>	<12.7pt>		
親会社の所有者持分	1,067	△1,458	802	2,259	-	880
<率>	<6.3%>	<△8.2%>	<4.4%>	<12.6pt>		<5.1%>
当期包括利益合計	3,437	△1,809	△396	1,413	-	
<率>	<20.3%>	<△10.2%>	<△2.2%>	<8.0pt>		
親会社の所有者持分	3,392	△1,866	△403	1,463	-	
<率>	<20.0%>	<△10.5%>	<△2.2%>	<8.3pt>		
実効税率						
国内の法定実効税率	38.0%	35.6%	33.0%	△2.6pt		
連結純損益計算書上の税率	31.0%	1.7%	30.7%	29.1pt		

(注)1. 新組織体制への移行および管理計算制度の変更に伴い、15年度の表示科目の一部が変更されており、14年度および14年度H1においては当該表示科目変更による影響の概算額を調整している。

なお、この影響の概算額は、売上原価+71億円、販売費及び一般管理費+221億円、研究開発費△292億円である。

2. その他には、条件付対価に係る公正価値変動額を含んでいる。

3. 効率的な事業運営体制の構築に向けた、従業員の削減や事業拠点の統廃合をはじめとする取り組みにかかる費用を事業構造再編費用として計上している。

3. 売上収益・売上高の状況

◆地域別売上収益

(億円)

	13年度	14年度	15年度	対前年	増減率
売上収益合計	16,917	17,778	18,074	296	1.7%
国内	7,339	7,128	6,881	△247	△3.5%
海外	9,578	10,650	11,193	543	5.1%
<海外売上収益比率>	<56.6%>	<59.9%>	<61.9%>	<2.0pt>	
米国	3,521	4,261	5,144	883	20.7%
<同比率>	<20.8%>	<24.0%>	<28.5%>	<4.5pt>	
欧州およびカナダ	3,200	3,253	3,093	△160	△4.9%
<同比率>	<18.9%>	<18.3%>	<17.1%>	<△1.2pt>	
ロシア/CIS	896	813	618	△195	△24.0%
<同比率>	<5.3%>	<4.6%>	<3.4%>	<△1.2pt>	
中南米	812	854	684	△170	△19.9%
<同比率>	<4.8%>	<4.8%>	<3.8%>	<△1.0pt>	
アジア	854	1,114	1,260	145	13.1%
<同比率>	<5.0%>	<6.3%>	<7.0%>	<0.7pt>	
その他	295	355	394	39	11.1%
<同比率>	<1.7%>	<2.0%>	<2.2%>	<0.2pt>	
うち知的財産権収益・役務収益	863	875	565	△311	△35.5%
国内	26	88	72	△16	△17.8%
海外	837	788	493	△295	△37.5%

(注1)売上収益は、顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類している。

(注2)14年度より、組織体制との相互関連性を考慮し、従来の「北米」を「米国」と「カナダ」に分割した上で、「カナダ」と従来の「欧州」を統合し「欧州およびカナダ」としている。本変更により、13年度の数値を変更後の区分により作成している。

(注3)「その他」には、中東・大洋州・アフリカが含まれている。

◆医療用医薬品売上収益

(億円)

	13年度	14年度	15年度	対前年	増減率
国内製商品売上高	5,800	5,532	5,351	△182	△3.3%
海外製商品売上高	8,633	9,743	10,577	834	8.6%
米国	3,189	3,949	4,953	1,004	25.4%
欧州およびカナダ	2,656	2,871	2,835	△36	△1.2%
ロシア/CIS	895	795	615	△180	△22.7%
中南米	806	801	660	△140	△17.5%
アジア	805	1,024	1,166	141	13.8%
その他	281	303	349	45	14.9%
知的財産権収益・役務収益	858	869	558	△311	△35.8%
国内	21	81	66	△15	△18.7%
海外	837	788	493	△296	△37.5%
医療用医薬品売上収益 合計	15,291	16,145	16,487	342	2.1%
海外医療用医薬品売上収益比率	61.9%	65.2%	67.1%	1.9pt	

(注1)売上収益は、顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類している。

(注2)14年度より、組織体制との相互関連性を考慮し、従来の「北米」を「米国」と「カナダ」に分割した上で、「カナダ」と従来の「欧州」を統合し「欧州およびカナダ」としている。本変更により、13年度の数値を変更後の区分により作成している。

(注3)「その他」には、中東・大洋州・アフリカが含まれている。

◆新興国医療用医薬品売上収益

(億円)

	13年度	14年度	15年度	対前年	増減率
新興国売上収益	2,808	3,137	2,904	△233	△7.4%
中国		552	660	107	19.4%
ロシア		576	435	△140	△24.4%
ブラジル		476	381	△96	△20.1%

(注1)売上収益は知的財産権収益および役務収益を含めて表示している。

(注2)「新興国売上収益」には、「中国」、「ロシア」および「ブラジル」以外の新興国が含まれている。

◆医療用医薬品 グローバル主要品目売上高(注1)

(億円)

		14年度	15年度	対前年	財務ベース 増減率	実質的な 成長率	16年度見込 (注2)
ベルケイド	米国	1,108	1,316	209	18.8%	7.3%	
	米国以外	419	304	△115	△27.5%	△34.7%	
	合計	1,527	1,620	93	6.1%	△4.2%	↘↘
リユープロレリン	日本	576	538	△38	△6.5%	△6.5%	
	米国	159	173	14	8.9%	6.0%	
	欧州およびカナダ	364	353	△11	△3.0%	0.5%	
	新興国	142	180	38	27.1%	21.6%	
	合計	1,240	1,244	4	0.3%	0.5%	↘
パントプラゾール	米国	110	136	26	23.9%	15.9%	
	欧州およびカナダ	493	434	△59	△12.0%	△8.4%	
	新興国	434	437	3	0.7%	0.0%	
	合計	1,037	1,008	△30	△2.9%	△2.0%	↘
ランソプラゾール	日本	525	413	△113	△21.4%	△21.4%	
	米国	287	275	△12	△4.1%	△12.7%	
	欧州およびカナダ	117	105	△12	△9.9%	△5.5%	
	新興国	101	102	1	1.2%	△2.7%	
	合計	1,029	895	△134	△13.1%	△15.2%	↘↘↘
エンティビオ	米国	201	631	429	-	192.5%	
	欧州およびカナダ	77	219	142	184.7%	-	
	新興国	0	13	12	-	-	
	合計	278	862	583	-	199.1%	↗↗↗
カンデサルタン	日本	946	585	△361	△38.1%	△38.1%	
	米国	21	13	△8	△38.5%	△45.0%	
	欧州およびカナダ	177	125	△51	△29.1%	△30.8%	
	新興国	114	124	11	9.3%	1.9%	
	合計	1,257	848	△410	△32.6%	△33.4%	↘↘↘
デクスラント	米国	535	640	106	19.8%	8.6%	
	欧州およびカナダ	49	54	5	11.2%	16.7%	
	新興国	39	57	17	44.0%	50.1%	
	合計	623	751	128	20.6%	11.9%	→
アジルバ	日本	454	590	137	30.1%	30.1%	
	合計	454	590	137	30.1%	30.1%	→
ネシーナ	日本	384	369	△15	△3.9%	△3.9%	
	米国	41	53	12	29.0%	16.8%	
	欧州およびカナダ	6	35	29	-	-	
	新興国	13	33	20	163.2%	169.8%	
	合計	443	489	46	10.5%	10.4%	→
コルクリス	米国	588	465	△124	△21.0%	△28.9%	
	合計	588	465	△124	△21.0%	△28.9%	→
ユーロリック	米国	326	418	92	28.4%	16.7%	
	欧州およびカナダ	6	7	1	12.5%	17.5%	
	合計	332	425	93	28.1%	16.7%	→
アミティーザ	米国	319	372	53	16.5%	5.6%	
	欧州およびカナダ	0	1	1	-	-	
	合計	320	373	53	16.7%	5.7%	→
アドセトリス	日本	28	31	3	12.5%	12.5%	
	欧州およびカナダ	163	174	11	6.6%	9.5%	
	新興国	36	72	36	102.7%	124.9%	
	合計	229	276	48	20.8%	27.6%	→
プリンテリックス	米国	136	245	109	79.9%	63.7%	
	合計	136	245	109	79.9%	63.7%	↗↗↗
タケキャブ	日本	32	84	52	161.0%	161.0%	
	合計	32	84	52	161.0%	161.0%	↗↗↗
ニンラーロ	米国	-	40	40	-	-	
	合計	-	40	40	-	-	↗↗↗

(注1) 知的財産権収益および役員収益を含めて表示している。

(注2) 16年度見込: 15年度実績からの増減率(財務ベース)を矢印で示しています。

→ ±10% ↗ +10% ~ 20% ↗↗ +20% ~ 30% ↗↗↗ +>30% ↘ -10% ~ 20% ↘↘ -20% ~ 30% ↘↘↘ ->30%

◆ 医療用医薬品 米国主要品目売上高（現地通貨ベース）（注）

（百万米ドル）

	13年度	14年度	15年度	対前年	増減率
ベルケイド	953	1,017	1,079	62	6.1%
デクスラント	449	488	530	42	8.6%
エンティビオ	-	179	524	345	192.5%
コルクリス	520	542	386	△157	△28.9%
ユーロリック	266	297	347	50	16.7%
アミティーザ	257	291	308	16	5.6%
プレバシド （ランソプラゾール）	295	254	222	△32	△12.6%
プリンテリックス	4	124	203	79	63.7%
コントレイブ	-	19	56	37	199.9%
ニンラーロ	-	-	34	34	-

（注）知的財産権収益および役員収益を除いた製品売上高を表示している。

◆ 医療用医薬品 国内主要品目売上高

（億円）

発売年月	薬効区分	13年度	14年度	15年度	対前年	増減率
アジルバ ^{（注）} (12. 5)	高血圧症治療剤	253	454	590	137	30.1%
プロブレス ^{（注）} (カンデサルタン) (99. 6)	高血圧症治療剤	1,258	946	585	△361	△38.1%
リユープリン (リユープロレリン) (92. 9)	前立腺がん・乳がん・ 子宮内腫瘍治療剤	645	576	538	△38	△6.5%
タケブロン ^{（注）} (ランソプラゾール) (92.12)	消化性潰瘍 治療剤	676	525	413	△113	△21.4%
エンブレル (05. 3)	抗リウマチ剤	454	412	408	△4	△0.9%
ネシーナ ^{（注）} (10. 6)	糖尿病治療剤	380	384	369	△15	△3.9%
ロトリガ (13. 1)	高脂血症治療剤	52	132	223	91	69.0%
ベクティビックス (10. 6)	直腸・結腸がん 治療剤	194	183	184	0	0.3%
レミニール (11. 3)	アルツハイマー型 認知症治療剤	123	139	160	20	14.5%
ベネット (02. 5)	骨粗鬆症治療剤	116	104	97	△7	△6.5%
ベイスン (94. 9)	糖尿病治療剤	161	112	87	△25	△22.5%
アクトス ^{（注）} (ピオグリタゾン) (99.12)	糖尿病治療剤	155	108	85	△23	△21.3%
タケキャブ (15. 2)	酸関連疾患 治療剤	-	32	84	52	161.0%
ロゼレム (10. 7)	不眠症治療剤	60	66	74	8	12.4%
アドセトリス (14. 4)	悪性リンパ腫 治療剤	-	28	31	3	12.5%

（注）配合剤などを含む。

◆ 一般用医薬品 主要品目売上高

（億円）

	13年度	14年度	15年度	対前年	増減率
アリナミン錠剤類	196	207	252	46	22.1%
アリナミンドリンク類	151	149	149	1	0.4%
ベンザ類	104	97	98	2	1.7%
ピオフェルミン類	84	81	86	5	6.1%
ボラギノール類	44	41	45	4	8.9%

4. 連結財務状態計算書

＜資産＞	(億円)					
	12年度末	13年度末	14年度末	15年度末	構成比	対14年度末
非流動資産	28,212	29,766	27,761	24,503	64.1%	△3,258
有形固定資産	5,468	5,423	5,262	5,519	14.4%	258
取得原価	11,090	11,677	11,771	12,238		468
減価償却累計額及び減損損失累計額	△5,622	△6,254	△6,509	△6,719		△210
のれん	7,140	8,147	8,219	7,793	20.4%	△426
無形資産	10,958	11,356	9,394	7,431	19.4%	△1,963
投資不動産	367	321	302	266	0.7%	△36
持分法で会計処理されている投資	92	100	104	100	0.3%	△4
その他の金融資産	2,118	1,928	2,413	1,495	3.9%	△918
売却可能金融資産	1,603	1,416	1,597	1,321		△276
その他の非流動資産	275	408	522	190	0.5%	△332
前払年金費用	233	358	490	169		△322
繰延税金資産	1,794	2,084	1,545	1,708	4.5%	163
流動資産	12,314	15,925	15,201	13,738	35.9%	△1,463
棚卸資産	2,293	2,543	2,624	2,540	6.6%	△83
売上債権及びその他の債権	3,750	4,306	4,447	4,154	10.9%	△293
その他の金融資産	162	1,850	613	1,086	2.8%	473
未収法人所得税等	120	120	221	152	0.4%	△70
その他の流動資産	493	435	632	641	1.7%	9
現金及び現金同等物	5,456	6,660	6,521	4,514	11.8%	△2,007
売却目的で保有する資産	40	10	142	650	1.7%	508
資産合計	40,526	45,691	42,962	38,241	100.0%	△4,721

<負債及び資本>

(億円)

	12年度末	13年度末	14年度末	15年度末	構成比	対14年度末
負債合計	17,143	20,285	20,900	18,129	47.4%	△2,771
非流動負債	10,804	12,258	10,732	9,557	25.0%	△1,175
社債	4,713	4,633	4,194	1,798	4.7%	△2,397
長期借入金	1,113	2,413	2,100	3,600	9.4%	1,500
その他の金融負債	964	1,101	701	1,021	2.7%	320
退職給付に係る負債	666	765	917	849	2.2%	△68
引当金	218	144	471	344	0.9%	△127
その他の非流動負債	411	396	788	710	1.9%	△77
繰延税金負債	2,718	2,806	1,561	1,235	3.2%	△327
流動負債	6,338	8,028	10,168	8,572	22.4%	△1,596
社債	-	1,541	700	2,285	6.0%	1,585
短期借入金	19	13	300	-	0.0%	△300
仕入債務及びその他の債務	1,699	1,849	1,708	1,911	5.0%	203
その他の金融負債	386	488	421	372	1.0%	△49
未払法人所得税	1,294	523	411	431	1.1%	21
引当金	1,008	1,253	4,186	1,153	3.0%	△3,032
その他の流動負債	1,933	2,360	2,385	2,269	5.9%	△116
売却目的で保有する資産に係る負債	-	-	58	151	0.4%	93
資本合計	23,383	25,406	22,062	20,112	52.6%	△1,950
資本金	635	636	640	648		7
資本剰余金	403	399	596	688		93
自己株式	△6	△6	△182	△360		△178
利益剰余金	19,278	19,013	16,013	15,231		△782
その他の資本の構成要素	2,431	4,666	4,303	3,279		△1,024
親会社の所有者に帰属する持分	22,741	24,707	21,370	19,487		△1,884
非支配持分	642	699	691	625		△66
負債及び資本合計	40,526	45,691	42,962	38,241	100.0%	△4,721

5. 連結キャッシュフロー計算書

(億円)

	12年度	13年度	14年度	15年度	対前年
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,326	1,487	1,825	255	△1,570
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,311	△1,541	913	△712	△1,626
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,522	965	△3,010	△1,248	1,762
現金及び現金同等物の増減額	493	912	△271	△1,706	△1,434
現金及び現金同等物期首残高	4,542	5,456	6,660	6,552	△108
現金及び現金同等物に係る換算差額	420	293	163	△333	△496
現金及び現金同等物期末残高	5,456	6,660	6,552	4,514	△2,038

6. セグメント情報

	(億円)					
	13年度	14年度	15年度	対前年	増減率	16年度 見込
売上収益	16,917	17,778	18,074	296	1.7%	17,200
医療用医薬品事業	15,291	16,145	16,487	342	2.1%	
国内	5,821	5,613	5,417	△197	△3.5%	
海外	9,470	10,532	11,070	538	5.1%	
コンシューマーヘルスケア事業	729	736	801	65	8.9%	
その他事業	898	897	786	△111	△12.4%	
営業利益	1,393	△1,293	1,308	2,601	-	1,350
医療用医薬品事業	1,121	△1,789	1,028	2,817	-	
<率>	<7.3%>	<△11.1%>	<6.2%>	<17.3pt>		
コンシューマーヘルスケア事業	164	172	189	17	10.0%	
<率>	<22.5%>	<23.4%>	<23.6%>	<0.2pt>		
その他事業	108	324	91	△234	△72.0%	
<率>	<12.0%>	<36.2%>	<11.5%>	<△24.6pt>		

(注) 15年度より、従来の「ヘルスケア事業」から「コンシューマーヘルスケア事業」へとセグメント名称を変更しております。
 なお、セグメント名称変更によるセグメント情報に与える影響はありません。

7. 資本的支出、減価償却費及び償却費、減損損失

	(億円)					
	13年度	14年度	15年度	対前年	増減率	16年度 見込
資本的支出	994	1,016	1,368	353	34.8%	1,750
有形固定資産の増加額*	439	537	940	403	75.2%	
無形資産の増加額	555	479	428	△51	△10.5%	
*企業買収に伴う増加額は含まない。						
減価償却費及び償却費	1,873	1,916	1,812	△103	△5.4%	
有形固定資産の減価償却費*	593	587	534	△53	△9.0%	
無形資産の償却費	1,279	1,329	1,278	△51	△3.8%	
うち、製品に係る償却費	1,201	1,232	1,187	△45	△3.6%	
*投資不動産に係る減価償却費は含まない。						
減損損失	275	684	152	△532	△77.8%	
うち、製品に係る減損損失	231	532	64	△468	△88.0%	
製品に係る無形資産償却費及び減損損失	1,432	1,764	* 1,251	△513	△29.1%	* 1,400

* 16年度より、これまで「研究開発費」に含めていた研究開発関連の無形資産(パイプラインや基盤技術)に係る償却費及び減損損失を組み替え、「製品等に係る無形資産償却費及び減損損失」の勘定科目名称で表示する予定です(16年度見込:1,400億円)。
 なお、15年度の当該組替影響額は66億円であり、「製品等に係る無形資産償却費及び減損損失」に相当する15年度実績は1,318億円となります。

8. 人員の状況

	13年度末	14年度末	15年度末
連結人員 合計 ①+②	31,225	31,328	31,168
(うち海外)	(21,671)	(21,716)	(21,877)
医療用医薬品事業	28,672	28,761	28,762
コンシューマーヘルスケア事業	461	457	500
その他事業	2,092	2,110	1,906
武田薬品単体(就業人員) ①	6,578	6,780	6,780
連結子会社 ②	24,647	24,548	24,388

(注)工数換算ベースの就業人員数である。

9. 株主の状況

【所有者別】

		13年度末	14年度末	15年度末	対14年度末
国内機関投資家	株主数(名)	313	277	291	14
	株式数(千株)	235,353	235,524	252,537	17,013
	構成比(%)	29.80	29.82	31.96	2.14
国内証券会社	株主数(名)	67	47	64	17
	株式数(千株)	38,582	41,794	38,448	△3,346
	構成比(%)	4.88	5.29	4.87	△0.43
国内事業会社	株主数(名)	1,890	1,567	1,515	△52
	株式数(千株)	41,626	41,751	41,133	△619
	構成比(%)	5.27	5.29	5.20	△0.08
海外機関投資家等	株主数(名)	883	891	876	△15
	株式数(千株)	223,377	255,976	248,822	△7,153
	構成比(%)	28.29	32.40	31.49	△0.91
国内個人投資家等	株主数(名)	305,206	266,344	262,674	△3,670
	株式数(千株)	250,612	214,742	209,197	△5,545
	構成比(%)	31.74	27.18	26.47	△0.71
武田薬品	株式数(千株)	130	138	147	9
	構成比(%)	0.02	0.02	0.02	0.00

【所有株数別】

		13年度末	14年度末	15年度末	対14年度末
500万株以上	株主数(名)	21	25	24	△1
	株式数(千株)	267,568	311,874	333,589	21,716
	構成比(%)	33.88	39.48	42.21	2.73
100万株以上	株主数(名)	91	82	79	△3
	株式数(千株)	203,000	190,704	182,566	△8,139
	構成比(%)	25.71	24.14	23.10	△1.04
10万株以上	株主数(名)	273	280	266	△14
	株式数(千株)	85,950	88,306	79,611	△8,695
	構成比(%)	10.88	11.18	10.07	△1.11
1万株以上	株主数(名)	2,472	2,126	2,091	△35
	株式数(千株)	50,890	44,904	43,975	△929
	構成比(%)	6.45	5.70	5.56	△0.14
1000株以上	株主数(名)	63,080	52,696	51,050	△1,646
	株式数(千株)	126,265	106,438	103,367	△3,071
	構成比(%)	15.99	13.48	13.08	△0.40
100株以上	株主数(名)	232,953	205,140	203,532	△1,608
	株式数(千株)	55,762	47,466	46,955	△511
	構成比(%)	7.06	6.01	5.94	△0.07
100株未満	株主数(名)	9,470	8,778	8,379	△399
	株式数(千株)	247	231	221	△10
	構成比(%)	0.03	0.03	0.03	△0.00
合計	株主数(名)	308,360	269,127	265,421	△3,706
	株式数(千株)	789,681	789,924	790,284	361

【大株主の状況】

順位	株主名	15年度末		対14年度末増減	
		千株	%	千株	(前期順位)
1	日本生命保険(相)	50,760	6.42	-	(1)
2	日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	36,308	4.59	5,262	(2)
3	日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口)	33,223	4.20	6,641	(3)
4	JP MORGAN CHASE BANK 380055	30,670	3.88	11,329	(4)
5	公益財団法人武田科学振興財団	17,912	2.27	-	(5)
6	ハーレイ証券会社	15,000	1.90	-	(6)
7	STATE STREET BANK WEST CLIENT-TREATY 505234	13,741	1.74	2,384	(8)
8	JP MORGAN CHASE BANK 385147	11,358	1.44	△2,023	(7)
9	日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口7)	10,903	1.38	2,462	(11)
10	STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505225	10,044	1.27	△132	(9)

10. 主要な経営指標

	13年度	14年度	15年度
[成長性]			
売上伸長率(%)	8.6	5.1	1.7
営業利益伸長率(%)	114.3	-	-
当期利益伸長率(%) (注1)	△28.2	-	-
[収益性]			
売上総利益率(%) (注3)	71.0	70.3	70.4
売上営業利益率(%)	8.2	△7.3	7.2
売上当期利益率(%) (注1)	6.3	△8.2	4.4
総資産当期利益率(%) (注1)	2.5	△3.3	2.0
親会社所有者帰属持分当期利益率(ROE、%)	4.5	△6.3	3.9
[安定性]			
親会社所有者帰属持分比率(%)	54.1	49.7	51.0
流動比率(%)	198.4	149.5	160.3
非流動資産対長期資本比率(%) (注1)	80.5	86.5	84.4
[効率性]			
総資本回転率(回)	0.37	0.41	0.47
固定資産回転率(回)	0.57	0.64	0.74
売上債権回転率(回) (注2)	4.45	4.40	4.69
[その他]			
研究開発費比率(%)	20.2	21.5	19.1
1株当たり親会社所有者帰属持分(円)	3,130	2,719	2,487
基本的 1株当たり当期利益(EPS、円) (注1)	135.10	△185.37	102.26
EPS成長率(%)	△28.2	-	△155.2
配当性向(%)	133.2	-	176.0
親会社所有者帰属持分配当率(DOE、%)	6.0	6.2	6.9

(注1) 指標は親会社の所有者に帰属する金額を用いて算定している。

(注2) 売上債権回転率については、期末休日要因を排除している。

(注3) 新組織体制への移行および管理計算制度の変更に伴い、15年度の表示科目の一部が変更されており、14年度については当該表示科目変更による影響の概算額を調整している。

Ⅲ. パイプラインの現状

1. 開発の状況

この表では当社が明確に効能取得をターゲットとしている主な効能を掲載しています。これらの効能以外においても、将来の効能・剤型追加の可能性を検討するために臨床試験を行っています。この表では日・米・欧に限って開示していますが、新興国を含め、他の地域においても開発を行っています。

■ がん領域

開発コード ＜一般名＞ 製品名	薬効(投与経路)	適応症/剤型追加	開発段階
TAP-144-SR ＜leuprorelin acetate＞ リュープリン®(日本) LUPRON DEPOT®(米国) ENANTONE®ほか(欧州)	LH-RH アゴニスト (注射剤)	6ヶ月製剤 (前立腺がん、閉経前乳がん)	日本 承認(15/9)
MLN9708 ＜ixazomib＞ NINLARO®(米国)	プロテアソーム阻害薬 (経口剤)	再発・難治性の多発性骨髄腫	米国 承認(15/11) 欧州 申請(15/7) 日本 P-III
		初発の多発性骨髄腫	米国 P-III 欧州 P-III 日本 P-III
		自家造血幹細胞移植後の初発の多発性骨髄腫の維持療法	米国 P-III 欧州 P-III 日本 P-III
		自家造血幹細胞移植未実施の初発の多発性骨髄腫の維持療法	米国 P-III 欧州 P-III 日本 P-III
		再発・難治性の原発性 AL アミロイドーシス	米国 P-III 欧州 P-III
		固形がん	米国 P-I
SGN-35 ＜brentuximab vedotin＞ アドセトリス®(欧州、日本)	CD30 モノクローナル抗体薬物複合体 (注射剤)	自家造血幹細胞移植後のホジキンリンパ腫	欧州 申請(15/3)
		再発性皮膚 T 細胞性リンパ腫	欧州 P-III
		ホジキンリンパ腫(フロントライン適応)	欧州 P-III 日本 P-III
		成熟型 T 細胞性リンパ腫(フロントライン適応)	欧州 P-III 日本 P-III
AMG 386 ＜trebananib＞	アンジオポエチン阻害ペプチゴディ (注射剤)	卵巣がん	日本 P-III
MLN8237 ＜alisertib＞	オーロラ A キナーゼ阻害薬 (経口剤)	小細胞肺癌	米国 P-II b 欧州 P-II b
TAK-228 ＜->	mTORC1/2 阻害薬 (経口剤)	乳がん	米国 P-II b 欧州 P-II b
		腎がん	米国 P-II b
		子宮内膜がん	米国 P-II b
TAK-385 ＜relugolix＞	LH-RH アンタゴニスト (経口剤)	前立腺がん	米国 P-II b 欧州 P-II b 日本 P-I
		高リスク骨髄異形成症候群	米国 P-II a 欧州 P-II a
		固形がん	— P-I
TAK-117 ＜->	PI3K α アイソフォーム阻害薬 (経口剤)	非小細胞肺癌	米国 P-I / II 欧州 P-I / II
		胃がん	— P-I
TAK-243 ＜->	ユビキチン活性化酵素阻害薬 (注射剤)	固形がん	— P-I
TAK-580 ＜->	pan-Raf キナーゼ阻害薬 (経口剤)	固形がん	— P-I
TAK-659 ＜->	SYK キナーゼ阻害薬 (経口剤)	固形がん、血液がん	— P-I
TAK-931 ＜->	CDC7阻害薬 (経口剤)	固形がん	— P-I

■ 消化器系疾患領域

開発コード ＜一般名＞ 製品名	薬効(投与経路)	適応症/剤型追加	開発段階
TAK-390MR ＜dexlansoprazole＞ DEXILANT®(米国、欧州)	プロトンポンプ阻害薬(経口剤)	口腔内崩壊錠(酸関連疾患)	米国 承認(16/1)
		青年期酸関連疾患	米国 申請(15/9) 欧州 申請(15/9)
MLN0002 ＜vedolizumab＞ ENTYVIO®(米国、欧州)	ヒト化抗α4β7インテグリン モノクローナル抗体(注射剤)	潰瘍性大腸炎	日本 P-III
		クローン病	日本 P-III
		皮下投与製剤(潰瘍性大腸炎、クローン病)	米国 P-III 欧州 P-III 日本 P-III
＜lubiprostone＞ AMITIZA®(米国)	クロライドチャネル開口薬(経口剤)	新規剤型	米国 P-III
		小児機能的便秘症	米国 P-III
TAK-828 ＜-＞	RORγtインバースアゴニスト (経口剤)	クローン病	— P-I

■ 中枢神経系疾患領域

開発コード ＜一般名＞ 製品名	薬効(投与経路)	適応症/剤型追加	開発段階
＜glatiramer acetate＞ コパキソン®(日本)	免疫調整薬(注射剤)	多発性硬化症の再発予防	日本 承認(15/9)
Lu AA21004 ＜vortioxetine＞ BRINTELLIX®(米国)*1	多重作用メカニズム型抗うつ薬 (経口剤)	成人の大うつ病患者における認知機能への効果に関する臨床成績を添付文書に追記	米国 FDA Complete Response Letter 受領(16/3)
		大うつ病	日本 P-III
		成人における注意欠陥多動性障害	米国 P-II a
AD-4833/TOMM40	インスリン抵抗性改善薬(経口剤)/ バイオマーカー	アルツハイマー病に起因する軽度認知機能障害の発症遅延	米国 P-III 欧州 P-III
TVP-1012*2 ＜rasagiline＞	モノアミン酸化酵素B(MAO-B) 阻害薬(経口剤)	パーキンソン病	日本 P-III
TAK-063 ＜-＞	PDE10A阻害薬(経口剤)	統合失調症	米国 P-II a
TAK-058 ＜-＞	5-HT3受容体アンタゴニスト (経口剤)	統合失調症、特に統合失調症に伴う認知機能障害	— P-I
TAK-653 ＜-＞	AMPA受容体ポテンシエーター (経口剤)	精神疾患、神経疾患	— P-I
TAK-831 ＜-＞	D-アミノ酸化酵素阻害薬 (経口剤)	小脳性運動失調、統合失調症に伴う認知機能障害 および陰性症状	— P-I
TAK-915 ＜-＞	PDE2A阻害薬(経口剤)	統合失調症に伴う認知機能障害および陰性症状	— P-I
TAK-935 ＜-＞	CH24H阻害薬(経口剤)	癲癇	— P-I

*1 「BRINTELLIX」は2016年6月より米国における製品名を「TRINTELLIX」に変更して販売します。

*2 Teva社のテリトリーにおける製品名: AZILECT®

■ ワクチン

開発コード 製品名	薬効(投与経路)	適応症/剤型追加	開発段階
TAK-816 VAXEM Hib®(日本)	Hib ワクチン (注射剤)	Hib 感染症予防	日本 承認(16/1)
TAK-003	4 価 Dengue 熱ワクチン (注射剤)	Dengue 熱の予防	— P-II b
TAK-214	ノロウイルスワクチン (注射剤)	ノロウイルスによる急性胃腸炎の予防	— P-II b
TAK-850	季節性インフルエンザワクチン (注射剤)	インフルエンザウイルスの A 亜型および B 亜型によるインフルエンザの予防	日本 P-II a
TAK-021	EV71 ワクチン (注射剤)	エンテロウイルス 71 により発症する手足口病の予防	— P-I

■ スペシャルティ循環器系疾患

開発コード <一般名> 製品名	薬効(投与経路)	適応症/剤型追加	開発段階
TAK-272 <->	直接的レニン阻害薬 (経口剤)	糖尿病性早期腎症	日本 P-II b

■ その他

開発コード <一般名> 製品名	薬効(投与経路)	適応症/剤型追加	開発段階
SYR-322 <alogliptin> ネシーナ®(米国、日本) VIPIDIA®(欧州)	DPP-4 阻害薬 (経口剤)	メトホルミンとの合剤 (2 型糖尿病)	日本 申請(15/9)
<febuxostat XR> ULORIC®(米国)	非プリン型選択的キサンチン オキシダーゼ阻害薬 (経口剤)	徐放製剤 (高尿酸血症)	米国 P-III
TAK-536 <azilsartan> アジルバ®(日本)	アンジオテンシン II 受容体拮抗薬 (経口剤)	アムロジピンとヒドロクロチアジドとの合剤 (高血圧症)	日本 P-III
TAK-385 <relugolix>	LH-RH アンタゴニスト (経口剤)	子宮筋腫	日本 P-III
		子宮内膜症	日本 P-II b
NE-58095NF <risedronate> ベネット®(日本)	骨吸収抑制剤 (経口剤)	剤型追加/用法・用量変更 (骨粗鬆症)	日本 P-II/III
MT203 <namilumab>	GM-CSF モノクローナル抗体 (注射剤)	乾癬	欧州 P-II b
		関節リウマチ	欧州 P-II b
			日本 P-II a
TAK-020 <->	ブルトン型チロシンキナーゼ阻害薬 (経口剤)	関節リウマチ	— P-I
TAK-079 <->	細胞溶解性モノクローナル抗体 (注射剤)	関節リウマチ、全身性エリテマトーデス	— P-I
AMG 403 <fulranumab>	ヒト型抗ヒト神経成長因子 (NGF) モノクローナル抗体(注射剤)	疼痛	日本 P-I

■ 最近のステージアップ品目 ※2014年度決算開示(2015年5月15日)以降の進捗情報

開発コード <一般名>	適応症/剤型追加	国/地域	開発段階
<glatiramer acetate>	多発性硬化症の再発予防	日本	承認(15/9)
TAP-144-SR <leuprorelin acetate>	6ヶ月製剤 (前立腺がん、閉経前乳がん)	日本	承認(15/9)
MLN9708 <ixazomib>	再発・難治性の多発性骨髄腫	米国	承認(15/11)
TAK-390MR <dexlansoprazole>	口腔内崩壊錠 (酸関連疾患)	米国	承認(16/1)
TAK-816	Hib 感染症予防	日本	承認(16/1)
MLN9708 <ixazomib>	再発・難治性の多発性骨髄腫	欧州	申請(15/7)
TAK-390MR <dexlansoprazole>	青年期酸関連疾患	米国、欧州	申請(15/9)
SYR-322 <alogliptin>	メホルミンとの合剤 (2型糖尿病)	日本	申請(15/9)
MLN0002 <vedolizumab>	皮下投与製剤 (潰瘍性大腸炎、クローン病)	米国、欧州、日本	P-III
TAK-228 <->	腎がん	米国	P-II b
TAK-228 <->	子宮内膜がん	米国	P-II b
TAK-063 <->	統合失調症	米国	P-II a
TAK-850	インフルエンザウイルスの A 亜型および B 亜型によるインフルエンザの予防	日本	P-II a
TAK-924 <pevonedistat>	高リスク骨髄異形成症候群	米国、欧州	P-II a
MT203 <namilumab>	関節リウマチ	日本	P-II a
TAK-117 <->	非小細胞肺癌	米国、欧州	P-I / II
TAK-653 <->	精神疾患、神経疾患	—	P-I
TAK-831 <->	小脳性運動失調、統合失調症に伴う認知機能障害および陰性症状	—	P-I
TAK-915 <->	統合失調症に伴う認知機能障害および陰性症状	—	P-I
Lu AA21004 <vortioxetine>	成人の大うつ病患者における認知機能への効果に関する臨床成績を添付文書に追記	米国	FDA Complete Response Letter 受領 (16/3)
TAK-385 <relugolix>	子宮筋腫	日本	P-III
TAK-828 <->	クローン病	—	P-I
TAK-931 <->	固形がん	—	P-I

※太線以下は、2015 年度第 3 四半期決算開示(2016 年 2 月 3 日)以降の進捗情報

■ **開発中止品目 ※2014年度決算開示(2015年5月15日)以降の情報**

開発コード ＜一般名＞	適応症／剤型追加（開発段階）	中止および終了理由
Lu AA21004 <vortioxetine>	全般性不安障害（米国P-III）	本薬のライフサイクルマネジメントを見直し、全般性不安障害での開発を中止。
TAK-114 <->	潰瘍性大腸炎（米国、欧州P-II）	本薬と類似する候補化合物が、より優れたプロファイルを有する可能性があり、開発を中止。
TAK-264 <->	胃がん、膵臓がん（米国、欧州P-II）	効果が認められなかったため、開発中止を決定。
TAK-137 <->	精神疾患、神経疾患（P-I）	薬物動態から、セーフティマージンを踏まえ、開発中止を決定。
TAK-272 <->	高血圧症（P-I）	開発方針の見直しの結果、高血圧症における開発中止を決定。
TAK-733 <->	固形がん（P-I）	ポートフォリオ戦略に基づき、開発中止を決定。
Lu AA24530 <->	大うつ病、全般性不安障害（P-I）	大うつ病での開発について検討したが、2009年以降は積極的な開発を行っていない。Brintellix (vortioxetine)の上市成功を踏まえ、本薬のさらなる開発は行わないことを決定。
TAK-648 <->	糖尿病性腎症（P-I）	ポートフォリオ戦略に基づき、開発中止を決定。

※太線以下は、2015年度第3四半期決算開示(2016年2月3日)以降の情報

■ **共同事業化契約変更品目 ※2014年度決算開示(2015年5月15日)以降の情報**

開発コード ＜一般名＞	適応症／剤型追加（開発段階）	変更理由
TAK-233 <->	女性医療領域（P-I）	当社は本薬について、Outpost社に全世界における開発および販売に関する独占的権利を供与した。本薬は、有望な開発品だが、当社の重点領域には含まれないため、臨床試験の継続を可能にするため、導出する機会を探していた。

■ **ホームページで開示している臨床試験情報**

全ての臨床試験情報は自社ホームページの英文サイト(<http://www.takeda.com/c-t/>)で、日本における情報については和文サイト(<http://www.takeda.co.jp/c-t/>)で公開しています。

当社では、全世界の医療関係者および患者さんなど多くの方々に臨床試験情報を公開することにより、当社製品のより一層の適正使用に資するものと考えています。

2. 研究の状況

■ 主な共同研究活動

がん領域

提携先	国	研究内容/目的	期間
Seattle Genetics	米国	ADC (抗体薬物複合体) 技術	2009/3～
Mersana Therapeutics	米国	ADC (抗体薬物複合体) 技術	2014/4～
ImmunoGen, Inc.	米国	ADC (抗体薬物複合体) 技術	2015/3～
国立がん研究センター	日本	抗がん剤の創薬やがん生物学の研究に携わる研究者、医師などの交流を促進による、基礎研究から臨床試験までの治療オプションの探索	2015/4～2018/4

消化器系疾患領域

提携先	国	研究内容/目的	期間
Cour Pharmaceutical Development Company	米国	Cour社が有するTolerizing Immune Modifying nanoParticles(TIMP)技術に基づくナノテクノロジー技術を利用し、セリアック病等の消化器疾患の治療薬となり得る免疫調整薬を創出	2015/12～
Enterome	フランス	潰瘍性大腸炎などの炎症性腸疾患や過敏性腸症候群などの腸管運動障害をはじめとした消化器系疾患において重要な役割を担うと考えられる腸内細菌を標的とした新たな治療薬を創出	2016/1～
enGene	カナダ	enGene社の遺伝子導入基盤技術である「Gene Pill」を活用し、専門的な消化器系疾患領域に対する新規治療薬を創出	2016/1～

中枢神経系疾患領域

提携先	国	研究内容/目的	期間
Zinfandel Pharmaceuticals	米国	アルツハイマー病のバイオマーカーであるTOMM40	2010/12～
京都大学	日本	中枢神経系制御に基づく肥満症治療薬および統合失調症治療薬の創出	2011/1～2016/3
NsGene	米国	パーキンソン病の治療薬となり得るカプセル化細胞治療薬の創出	2016/1～

その他/複数の疾患領域

提携先	国	研究内容/目的	期間
Tri-Institutional Therapeutics Discovery Institute	米国	産学連携を推進し、革新的な医薬品を創出	2013/10～2017/6
Trianni, Inc.	米国	Trianni社の有する次世代の遺伝子導入マウスの基盤技術を用いて、当社が研究対象とする全ての疾患領域において、ヒト型モノクローナル抗体を作成	2014/3～
MacroGenics	米国	MacroGenics社のDual-Affinity Re-Targeting (DART®) 技術を活用し、両社が共同で選定した2つの分子を標的とする新薬候補物質の研究開発	2014/9～
慶應義塾大学医学部、新潟大学	日本	中枢神経系疾患やがんなどを対象とした、疾患関連RNA結合タンパク質の探索と機能解析	2015/3～2018/3
京都大学iPS細胞研究所 (CiRA)	日本	心不全、糖尿病、神経疾患、がんなどにおけるiPS細胞技術の臨床応用	2015/4～2025/3
Gencia LLC	米国	血液疾患および炎症性疾患を対象とし、ミトコンドリア結合型糖質コルチコイド受容体作動薬(「MAGR作動薬」)の研究開発	2015/8～

